





**<様式8>業務フロー・コスト分析実施結果報告表**

業務フロー・コスト分析 実施結果報告表			
府省等名 地方公共団体名	厚生労働省	部局名	北海道厚生局・関東信越厚生局
対象事業名	国家試験事業（医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、薬剤師）	実施期間	平成25年9月から平成26年3月
事業の概要	国家試験（医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、薬剤師）の実施に伴う会場確保、願書配布・受付、受験票送付、試験会場設営、試験の監督・運営、合格発表等業務		
改善が必要な事務区分 （その理由）	業務フロー・コスト分析の対象業務		
講じた改善措置	<p>◆ 医師等6国家試験：医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、薬剤師</p> <p>◆ 診療放射線技師6国家試験：診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、管理栄養士</p> <p>&lt;業務フローの分析&gt;</p> <p>業務実施の際、関東信越厚生局では「常勤職員のほか臨時職員などを活用した」ほか「会場設営や当日の試験対応などの業務はパッケージで民間業者が請け負っていた」ことに対し、北海道厚生局では「会場設営などの業務は常勤職員と非常勤職員のみで対応し、民間業者の請け負いは当日の試験運営のみであった」ことなど、関東信越厚生局と北海道厚生局でフローに多少の相違があった。</p> <p>それらの相違は、関東信越厚生局及び北海道厚生局の出願者数や厚生局内の国家試験に従事できる常勤職員数の違いにより生じたものである。</p> <p>&lt;コストの分析&gt;</p> <p>医師等6国家試験を実施するに当たり、試験日数や出願者数を基に推計したコストによる分析及び当該事業の実施が可能と考えられる民間事業者からの見積を徴取するなどした結果、現行の業務フローではコストが増加することが判明した。</p> <p>&lt;業務改善の内容&gt;</p> <p>医師等6国家試験を民間競争入札へ移行するに当たり、「出願受付・審査」や「試験運営」等の業務量の多い区分について、現在の業務フローを効率的に実施するため工夫をするなど課題に対応しつつ、民間事業者のノウハウを活用した事業改善を推進することにより、先行して民間競争入札を実施している診療放射線技師国家試験事業外5試験事業の第三期（平成29年度）から全12試験について民間競争入札を実施することとし、併せて、受験者に対するサービスの質の向上とコスト軽減についても引き続き取り組んで参りたい。</p>		
その効果	—		